

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市なのはなホーム
2 指定管理者	社会福祉法人なのはな会
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 3,985人(前年度比79.8%) 令和4年度 4,995人(前年度比116.7%) 令和3年度 4,282人(前年度比 93.2%) 《事業》 児童発達支援事業
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 - 指定管理者に支払った費用 69,871千円 (68,977千円) - その他市が負担した費用 495千円 (18千円) 《収入》 - 使用料収入 57,565千円 (72,646千円) - その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 令和5年12月～令和6年1月、指定管理者の協力のもと、障害者支援課で利用者アンケートを実施した。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営にあたっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。 個人情報の取扱いについては、管理責任者を定め、職員間で意識啓発を行うなど、適切な体制で管理しているほか、各種マニュアルの整備や、毎月の避難訓練の実施など、利用者の安全に配慮した運営に努めている。一方で、基準上毎月の実施が求められている消火訓練については実施されていない月があった。 経理書類の作成及び通帳印鑑の管理については適正に行われている。	23/24
III 施設・設備の維持管理	施設の保守点検や清掃を丁寧に行っており、利用者が快適かつ安全に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	サービス水準を確保するため、職員会議・研修等により人材育成を図るとともに情報共有に努め、職員全体でのサービス向上を目指している。また、アンケートの実施等で利用者のニーズ把握に努め、利用者の意見を取り入れた施設運営を心掛けている。 家族からの要望や相談にできる限り寄り添い、適切に対応するための体制を整えている。	27/27
V 施設固有の基準	個別支援計画を詳細に作成し、定期的に見直しを行っているほか、利用者1人1人の個別課題を職員で共有し、振り返り評価を行い、個々の特性を踏まえたより効果的な療育を実施できるよう努めている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人なのはな会）による自己評価》
令和5年度に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へ移行したことに伴い、療育内容を感染拡大前の取り組みに少しずつ戻しながら行ってきた。また、4月に大幅な職員の異動があったため、日々の療育には施設長や主任が入り、職員に子どもたちの発達・集団の遊び等を伝えることを行ってきた。 ＜発達支援＞ ・年齢、障がい問わず子育てに不安がある親子を受け入れ、早期療育を行った。 ・生活リズムを整え、小集団での療育と一人ひとりの個別支援計画に沿った支援を行った。 ＜家族支援＞ ・親子通園の保護者には日々のミーティングに加え、月1回施設長が、子どもたちの姿から生活リズム・遊び・おあつまりで大事にしていること等のミーティングを行った。 ・「卒園児の保護者」「ともだちのこと」「食事(栄養)」「ことば」等、保護者の要望も含め年10回保護者研修を行った。 ・行事への家族の参加人数の制限をなくし、家族と一緒に楽しく参加できる行事の計画と、一人ひとりの子供たちの発達の共有ができた。 ＜地域支援＞ ・地域の保育所・幼稚園・区役所の事後教室・児童館等への訪問を積極的に行い、各関係機関と子どもたちの姿を共有しながら、連携を深めてきた。 ・なのはな会での取り組みとして「なのはな広場」「あおぞら広場」を開催し、地域の中で遊ぶ場所で困っている親子・子育てに悩んでいる保護者が安心して遊べるよう支援を行った。 ・青葉ブロック活動として、地域の保護者を対象にペアレントプログラム・初期支援プログラムを実施し、保護者への支援を行った。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
令和5年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従っておおむね適切・良好に行われた。 児童の年齢、発達、障害特性、生活環境に合わせた療育の実現を図っている。地域支援においては、地域の子育て支援施設との連携、情報共有に努め、地域の中で児童発達支援センターとして求められる役割を果たすため、積極的な取り組みを行っている。 また、保護者のニーズに寄り添った定期的な保護者研修を開催したり、保護者が相談しやすい体制を整え、丁寧に相談に応じている。 基準上毎月の実施が求められている消火訓練が実施されていない月があったため、一部項目について減点を行ったが、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。	A

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局障害福祉部障害者支援課